

令和3年度第1回開成町総合教育会議 議事録

日 時：令和3年9月29日（水） 16時40分～17時15分

場 所：議会全員協議会室（役場3階）

出席者：（町）府川町長

（教育委員会）井上教育長、村岡委員、上野委員、本澤委員、野地委員

（事務局）遠藤教育委員会事務局参事、山口企画政策課長、岩本学校教育課長、奥原班長、尾川班長、増原主事

町長あいさつ

皆さんお忙しいところ集まっていただき感謝申し上げます。この場所は初めてだと思う。新庁舎も去年の5月に業務を開始してから、前の建物を取り壊し駐車場ができて、全部終わったところだが、いまだに町民の皆さんにお披露目ができていないことは、本当に残念でならない。

ここのところコロナの感染者も開成町ではかなり減ってきた。一時は月95人がピークだったが、今月は月16人、来月になれば月10人以下に収まるのかなというところである。

また、先週タウンニュースで神奈川県全体の接種率一覧表が出た。開成町はだいぶ下のなので、皆さんは心配なさっているかと思うが、データが古いとだいぶ数字が違う。1週間ごとに更新するので明日新しいものが出ると思うが、先週のデータでは、開成町の12歳以上の全世代の1回目接種率は61%を超えている。1回目が終わっているということは2回目の予約ができていますので、1回目の数字ではあるがそこまでいっている。65歳以上は92%までいっているの、今月中に希望者は受けられる。8割を目標にやっているが、届くかというところまで来ている。毎週ホームページで最新のデータに更新しており、あの数字を見てご心配の方もいられたと思うが、接種は進んでいるので、その点は誤解のないようお願いしたい。

また今年が開成幼稚園ができて50年ということで、歴代の園長先生をはじめ教育委員会の皆様のご尽力でここまで来られたと思う。特に3年教育が始まって、コロナで大変な中ではあるが、順調に導入ができたと思っている。県内で公立の園児数が一番ということで、そういう意味でも素晴らしい開成幼稚園になるので、継続していけるようにご協力いただければと思う。

先日開成小学校をNHKで取り上げていただいた。オンライン授業も見せていただいたが、大変残念なことに緊急速報が入ってしまった。そうはいつでもGIGAスクールの中で、タブレットを導入して開成町らしく動いているのは一般の人にも伝わったと思うので、そういった意味ではよかったと思う。南小学校の方も交通安全の関係で、開成駅南側のところと開成南小学校の西の交差点の2か所、右折信号が15日から開設された。なかなかつけてもらえないので、やっとなんかついて安心しているところだが、少しずつよい方向に動いていると

思うので、これからもぜひ、開成町の子どもたちの元気な声が響き渡る町にしていきたいと思っています。

教育長あいさつ

町立学校の幼児・児童・生徒数は、今年度5月1日現在で、幼児が218名、児童（小学生）が1,157名、生徒（中学生）が497名、計1,872名。いずれの学校も近年の少子化と言われる中で、大規模な学校になっている。幼稚園では正規教員のほかに、生活支援者をたくさん配置することができており、保護者からは非常に信頼を得る園児教育ができています。小中学校においても、特別支援学級のお子さんが多くなってきていることも含めて、介助員や支援者を多く配置していただくとともに、GIGAスクール構想に伴う一人一台の端末、施設設備を短期間に整備することができる支援をいただいたということもあった。文命中学校の大規模改修工事においては、予算を上乗せしていただくことができています。町民センターの改修もプラスの予算をいただいている。町民目線から見れば、ハードな部分、ソフトな部分への予算配慮等から、コロナ禍にあって、保護者や町民に夢を与える事業ができていると思う。今後も教育にかかる現状をご理解いただき、学校教育や生涯学習にぜひ、町長部局の皆さんにご支援をいただきたいと思う。本日は町長と教育委員の皆さんが直接意見交換できる数少ない時間なので、ぜひ活発な意見交換をしていただきたい。

協議事項「令和4年度に教育委員会が取り組むべき課題の共有について」

教育委員会事務局学校教育課尾川班長より、資料に基づき説明。

1. GIGA スクール構想の円滑な推進について

上野委員

ハード面でいろいろとそろえていただき、環境は整ったところではあるが、先生方も今までと違った授業のスタイルを作っていくということにおいては、ICT支援員も必ず必要だと思うので、継続的に支援をしてくださる方が常駐していることが望ましい。わからないから次に支援員が来る時に聞く、といったやり方だとわからないままになることが多いと思うので、支援員の配置は継続的に行っていただきたい。また、先生方が今まで使っていたものが使えないとなるのであれば、既存のもので対応できるコンテンツの導入などの検討が必要。今導入したものが古いものとなったときに、例えば国からの補助金がない場合の端末の事など、今で終わりではなく継続的にご支援いただきたいことが多くある。

町長

ハードについては最新のものを導入した。ソフトについては、先生方にどう使いこなしていただくかということは大変重要なので、支援員はこれからも必要な部分だと思う。国の補助金の関係はその時々状況によるが、何としても獲得はしたい。デジタル庁ができたこと

からも流れはあると思う。支援員はどれくらい来ているのか？

岩本課長

週一回の支援を行っている。

町長

全国一斉にやっているため、取り合いなのかと思う。なかなか確保するのも難しいが、頑張っていきたい。

3. コロナウイルス感染症対策について

村岡委員

各小中学校はトイレ清掃を行っているが、幼稚園は含まれていない。まずは幼稚園も同様に、委託業務にてトイレ清掃を行っていただきたい。また、トイレは業務委託だが、各教室の机やドアノブ等の除菌作業は全て教職員が行っている。実際にこの作業について、定例の教育委員会で先生方の声を聞くと、時間的負担・精神的負担があるという。というのも、万が一自分の教室から感染が拡がると、自分の拭き方が悪かったのではないかという不安があるという。二つの負担があるということからも、何とか業者委託にしていきたい。今は先生方の働き方改革ということも言われているので、除菌にあたっていた時間を、教材の研究をする・子どもたちのノートを見るときといった時間にあてられると思う。ぜひドアノブ等の除菌を含めて、委託作業で行っていただきたい。

町長

そういう話は聞いており、先生方の負担は減らす必要がある。特にコロナ禍においては大事なことで、今開成町の学校で感染者がほとんど出ていないということは、先生方がご苦勞をされている部分があるのは理解しているので、来年の予算は考えていきたい。幼稚園だけ何故委託がされていないのか。

岩本課長

補助金の関係で、幼稚園は含まれていない。

町長

除菌作業をやらないわけにはいかない。町で出すか、補助金を見つける必要があるので、検討しておく。

4. 園・学校の生活支援員について

野地委員

人件費はかかると思うが、開成町では生活支援員を多く配置していただいております、学校では大変ありがたいという声を聞いている。特に特別支援でいうと、担任一人だけだとなかなか子どもの困りに気付かない。そういった意味で、支援しきれないということもあり得るので、そばで個別に見てくださる生活支援員がいてくれることは、子どもたちも安心して学習に臨める。私は週4日中井町で支援に入っているが、ぜひ生活支援員の増員をお願いしたい。特に特別支援学級でいうと、子どもたちが交流級に行くときに、つけないことがある。そういう時は学校の校長・教頭・教務が入って補っているが、やはり交流級に行く時は不安感がある。安心感を持って学習に臨めるよう、特に開成南小の方で特別支援学級が増える見込みということもあり、ぜひ増員をお願いしたい。

町長

支援員配置の基準はあるのか。

教育長

県費負担教職員は、何人で1クラスといった基準がある。生活支援員については基準がないので、子どもたちの実態に応じて配置している。

野地委員

今は6名生活支援員がいるが、シフトで1日4人になっているので、一人でも多く入っていただければ、ありがたい。

町長

もっと一人ひとりに対応していく必要がある。教育委員会も予算のことはあると思うが、きちんと対応はしていきたい。

7. 町民センター大規模改修工事について

本澤委員

コロナが落ち着いた頃には文化団体の利用も多くなると思う。より多目的な使われ方に対応できるように、例えばプロジェクター・モニターといった備品を使えるようにしていただくとか、あるいは保健センターにテラスがあり昔使っていたという話も聞いたが全く今は使われていないとのことなので活用するといった、何か町民活動を後押しするような施設になったらいいと思う。例えば愛称を決めるといったように、町民目線で計画をしていただく方がよい。先日荒川区役所に行く用事があり、途中で「ゆいの森あらかわ」という新しい建物が目に入り、何かと思ったら中央図書館、子ども広場、カフェが併設された魅力的な場所だった。自治体の規模が違えばそれまでだが、他の自治体の成功例を参考にいただければと思う。

また南部コミュニティセンターについては歴史的経緯も聞いたが、将来的には駅前通り

線の終点に位置し町からアクセスしやすい強みがあると思うので、そういった利活用を考
えてもいいのではないかと。

町長

今は大規模改修ということで長期計画の中でやっていく予定だが、仰ったとおりせつ
か直すなら有効活用できるように大規模改修を行っていく必要があると考える。どんぐり
会館（南部コミュニティセンター）については、その時の補助金の関係で、取れるもので作
ったのでこういう形になったとは思いますが、本来小学校・中学校にあるような体育館であり、
幼稚園にも必要なかと思っている。その辺は教育委員にどのように考えていただくかによ
っても町としては変わるが、やはり教育施設として、体育館として使えるようにして、そ
れを他と同じように開放するという形がいいのではと思う。これも予算的な部分もあるが、
方針としてはできるだけ早く決めさせていただいた中で改修をしていく必要がある。施設
のあり方、位置づけ等を今のままでいくのか、幼稚園の施設としての位置づけにするのかと
いったことを教育委員に決めていただき、町に言っていただければそれなりのことを進め
ていきたい。

5. 園・学校における総合的な施設点検について

村岡委員

現役のころ、朝学校でひさしの壁が落ちており、たまたま夜落ちていたようだけが人はい
なかったが、すぐに教育委員会の職員に言って業者にも見てもらった。これははっきり言っ
て先生方の安全点検では無理である。加えて高いところの安全点検は目で見ただけでは難
しく、けが人が出なかったのが不幸中の幸いという経験をした。その時に、毎月一回先生方
で安全点検を行うが、そういった事例が出てくることも考えて、最低でも1年に1回は専門
の業者に見てもらふ必要があると思った。ぜひ予算をつけていただきたい。

野地委員

体育施設は年に1回は専門業者の点検を行っており、毎月の点検は職員複数で見ている
が、それでも心配な部分もある。

町長

公共施設の寿命化の中で、点検をしなければ計画は立てられないが、どうなっているのか。

岩本課長

開成小学校については、財務課で一通り点検は行った。雨漏り等も、急ぎのものについて
は体育館の屋根も含めて対応済みである。

町長

全く点検をしていないわけではないが、専門業者の点検については今後検討していきたい。

○全体について

教育長

教育全般のことを考えれば、人の教育・人育てには、よき人が子どもの周りに必要となり、学校教育については人が命。同時によい教育にはよい環境がなければならない。町全体の景観もそうだろうし、校舎という器もそうなので、よき環境整備が今後も必要。当然子育てのことを考えればよき家庭が必要だが、そこまでなかなか入り込めない部分もある。幼児教育が担う家庭教育、幼稚園の先生が家庭を活性化させるという意味では幼児教育はとても重要。幼児教育から始まる15歳までのスパイラルの人づくりとして、教育委員会としては見通しを立てたいと考えている。そう考えると多くの予算が必要になってしまうので、今後も教育へのご理解とご支援をお願いしたい。

町長

昔から教育のまち、スポーツのまちと言われているので、そこは絶対外せないところである。教育委員会の中でできる部分とまちづくりの中でできる部分があり、我々はどうしても教育の中ではなく外からとなる。地域の人に、どうやって子どもたちに、教育以外で関わってもらおうようにするのが大事。自治会に入っただけの人が少なくなっていることや、自治会長のなり手がいないといった課題はあるが、そうはいっても8割の方に入っただけなので、何とか自治会長にもやっていただいている。子どもに対して自治会の方でどのように関わるかが大事だと思うので、これはまちづくりの方で努力していきたい。

閉会あいさつ

教育長

このような場を設けていただき、また学校教育・生涯学習の所管をしている教育委員の皆さんのご意見をきいていただき、感謝申し上げます。今開成町は人口が増えているだけに、多様な個性・多様な価値観がある子どもや保護者、町民が本当に増えている。そんな状況もあり学校教育・生涯学習ともに課題は山積している。例えば、GIGA スクールのように先端技術の導入・活用、伝統文化の継承、人と人のかかわり合いの機会をつくること、批判意識の育成、学校教育の質の向上、不登校・引きこもりの青少年へのアプローチ、築年数が経った学校施設をどこまで引っ張っていくのかなど抱える課題もまた多様。教育委員会としては田舎モダンのスローガンをもとに、開物成務やすてきさんを合言葉に、ローカルに学んでグローバルに活躍できるよい人づくりに一層尽くしていきたい。あるいは着実にそういった

人を育てていきたい。今後も町長部局の皆さんにご理解・ご協力・さらなるご支援をいただき、よい教育のまち開成にしていきたいので、今後ともよろしくお願ひしたい。

町長

みなみ地区は新しいまちづくりの中でできた本当にきれいな街だが、やはり泥臭さも必要だと思う。開成町は小さいが、自然がある北部と、中部・南部ときちんと土地利用を分けて作りここまで発展してきた。その中でも、北部は北部のよいところ、南部は南部のよいところがあるので、うまく交流・融合していくのが大事。結局子どもはそこで育って社会に出てくるわけなので、小さい頃の教育は非常に重要。どこに行っても生きていけるたくましい人間になってほしいと思っているので、これからも教育委員会の皆さんと町がうまく連携しながらやっていきたいと思う。今後ともぜひよろしくお願ひしたい。

以上をもって終了とする。

以上